

来月の消費予報

コロナ感染再拡大への不安が高まるも、消費意欲指数は、大型連休のある5月らしい水準に

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20～69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。※4月1～5日に調査(詳細はP5)
2021年5月の消費意欲指数は47.6点。前月比-0.1ptと横ばい、前年比では+5.1ptと大きく上昇しました。

5月の消費意欲指数



【前月比】

-0.1 ポイント

【前年比】

+5.1 ポイント

■：前月比/前年比で上昇 ■：前月比/前年比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(5月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。

カテゴリー別 消費意向

【前月比】



【前年比】



★ UP：前月比/前年比で20人以上増加 ● DOWN：前月比/前年比で20人以上減少

「来月(5月)、特に買いたいモノ/利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ/利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月/前年と比較して作成。

5月のポイント

Point 1：前年コロナ禍で落ち込んだ消費意欲は回復し、4月の好調を維持

例年5月は大型連休があり、消費意欲指数は4月からやや上昇することが多い月です。今月は過去5年で最高値だった4月から好調を維持する結果となりました。また、コロナ禍で過去最低値だった前年5月と比べると、今月の47.6点は+5.1ptと例年の水準に回復しました。

消費意欲指数の理由(自由回答)をみると、消費にポジティブな回答は、前年と比べ増加し(20年5月245件→21年5月368件)、ネガティブな回答は減少しています(20年5月1,096件→21年5月875件)。

消費にポジティブな回答を具体的にみると、「(大型連休など)季節特有の消費(20年5月50件→21年5月129件)」、「欲しいものがある(20年5月92件→21年5月122件)」などの回答が増えています。

一方、消費にネガティブな回答では、コロナ禍に関するものが半数以下に減っています(20年5月560件→21年5月200件)。具体的には、「(コロナなど)病気の流行が怖いので出かけたくない(20年5月200件→21年5月59件)」、「コロナで外出できない・自粛(20年5月219件→21年5月91件)」、「(コロナなどで)収入減(20年5月157件→21年5月119件)」などです。

コロナ禍に関する消費にネガティブな回答は、前月からは若干増加しており(4月169件→5月200件)、予断を許さない状況ではあるものの、4月に高まった消費意欲は、大型連休のある5月も継続しそうです。

Point 2：カテゴリー別消費意向でも、多くのカテゴリーで前年を上回る

「特に買いたいモノ/利用したいカテゴリーがある」人は27.1%で、前月比-2.3ptと低下し、前年比では+4.6pt上昇しました。

カテゴリー別の消費意向では、前月と比べて「ファッション」、「外食」、「書籍・エンタメ」、「インテリア用品」などが20件以上減少していますが、前年と比べると「ファッション」、「食品」、「外食」、「旅行」、「レジャー」、「化粧品」、「家電・AV」など、16カテゴリー中10カテゴリーが20件以上増加しています。

消費意欲指数同様、前年落ち込んだ消費意向は、幅広いカテゴリーで回復していることが伺えます。

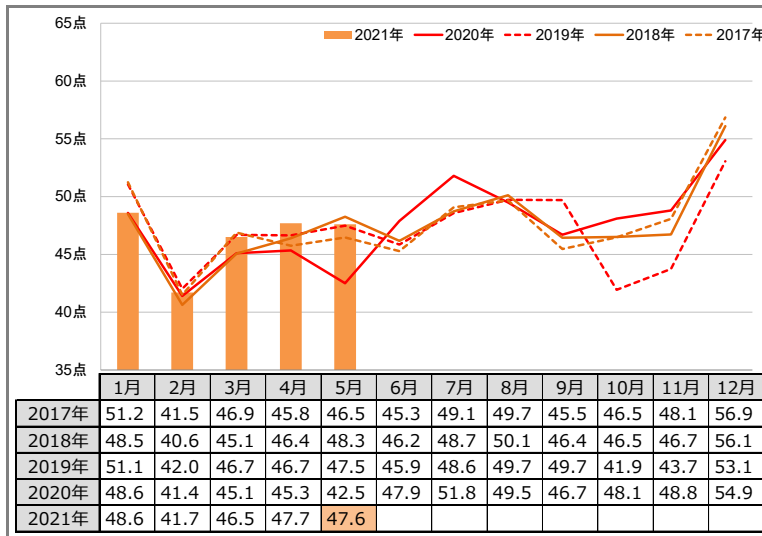
補足資料①

消費意欲指数

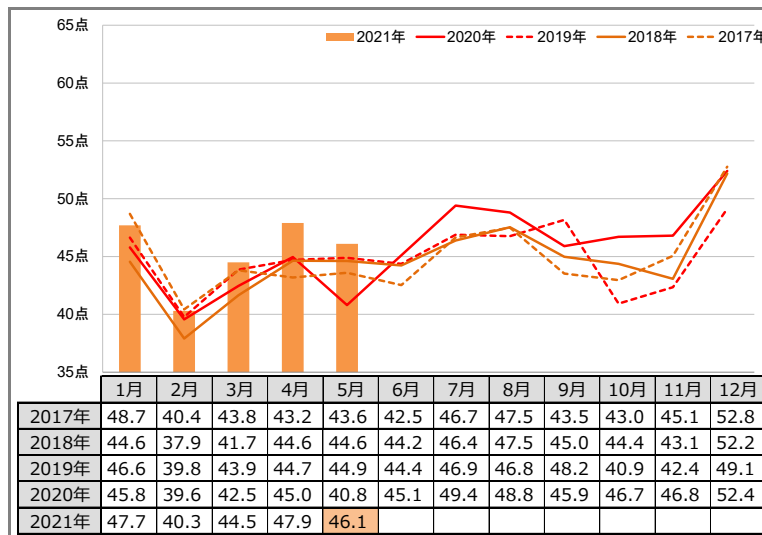
■ 時系列グラフ

Q.消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(5月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

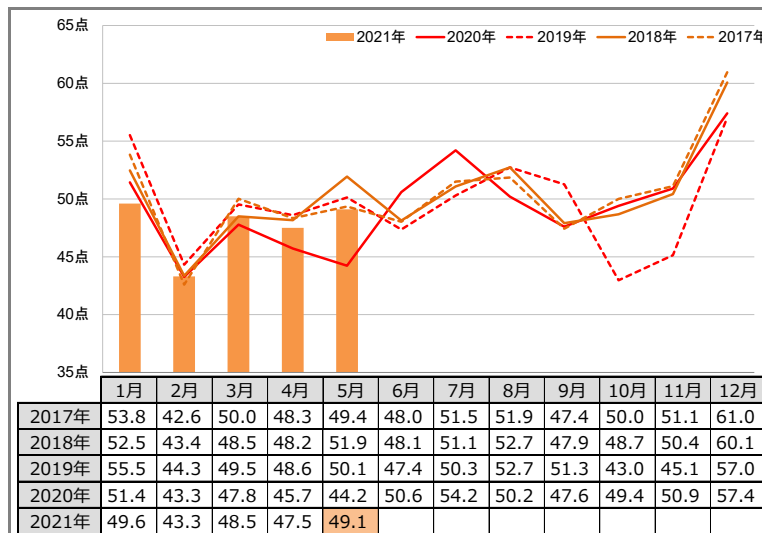
【全体】



【男性】



【女性】



消費意欲指数

■ 性別/年代別比較

(pt)

	(点)						21年4月比較	
	20年12月	21年1月	21年2月	21年3月	21年4月	21年5月	前月比	前年比
全体	54.9	48.6	41.7	46.5	47.7	47.6	-0.1	5.1
男性	52.4	47.7	40.3	44.5	47.9	46.1	-1.8	5.3
女性	57.4	49.6	43.3	48.5	47.5	49.1	1.6	4.9
20代	56.6	48.9	41.1	48.0	50.3	49.7	-0.6	3.7
30代	55.7	50.6	42.6	47.6	48.2	49.9	1.7	6.6
40代	57.1	50.1	41.1	47.2	49.1	47.0	-2.1	5.7
50代	51.5	45.0	41.4	42.6	44.6	45.1	0.5	5.1
60代	53.6	48.7	42.7	47.8	46.6	47.2	0.6	4.1

■ +3pt以上の増加
■ -3pt以上の減少

■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q.(消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【季節柄の消費など】>

- ・UNIQLOのポロシャツとパーカーを買いだめしているため(100点・男性24歳・大阪府)
- ・GWで外出も増え、それに合わせて買い替えたい物が色々出てきそう(70点・男性38歳・愛知県)
- ・欲しいものは色々あり、コロナ禍で我慢してきた分、気候も良くなり発散したい気持ちがあるから(80点・男性45歳・大阪府)
- ・GWがあるから(80点・男性56歳・埼玉県)
- ・GWに家族でレゴランドに行くから(70点・男性60歳・千葉県)

- ・GWがあり、旅行やエンタメにお金を使いたくなると思うから(80点・女性28歳・東京都)
- ・気候も暖かくなっていくので、息子の服を買ってあげたいし、自分自身にも少しはお金を使いたい(70点・女性31歳・奈良県)
- ・連休があるので、家を片付けて収納グッズの見直しをしたい。普段よりちょっと美味しいものも食べたい(80点・女性45歳・千葉県)
- ・GWもあり、休みが多いのでテレビの商品案内やネットで見たものが欲しくなって買ってしまうようなので(100点・女性56歳・大阪府)
- ・来月は連休で学校が休みなので孫にお金を使いそうだから(80点・女性68歳・愛知県)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【新型コロナ感染拡大など】>

- ・非常事態宣言は解除されたものの、感染者は全国で増加傾向にあり、この先の事を考えて消費に回す金はなるべく控えたい(50点・男性31歳・東京都)
- ・コロナがまた増えてきたので(20点・男性46歳・大阪府)
- ・更に感染が拡大してと思われるので必要不可欠でない買い物をしようとは思わない(5点・男性49歳・東京都)
- ・新型コロナ感染再拡大で外出意欲が弱まる(20点・男性52歳・大阪府)
- ・コロナがまだ収束していないから(30点・男性63歳・岐阜県)
- ・コロナの感染がまた広がってきているため、外に出る機会が少なそうだから(30点・女性25歳・千葉県)
- ・コロナ禍で以前より物欲がないため(30点・女性32歳・埼玉県)
- ・買い物は人が多くて危険だから(0点・女性46歳・大阪府)
- ・コロナの収束のメドが立たないから。第4波が来ると思うから(30点・女性56歳・愛知県)
- ・服を買うのが好きなので、買ってそれを着て出かけたが、大阪なので出かけた外食したりは怖いから(30点・女性60歳・大阪府)

()内点数:消費意欲指数

(参考) 新型コロナウイルス周りの主な動き ※前回調査((3月4日～8日)後より今回調査(4月1日～5日)まで

- 3月9日 コロナウイルスの「変異株」1か月前から4倍増
- 3月12日 東京都の1週間平均の感染者数増加
- 3月12日 コロナワクチン、医療従事者への2回目の接種開始
- 3月17日 欧州各国、コロナワクチン、アストラゼネカ社のコロナワクチン接種中断、一部で血栓の疑い
- 3月21日 緊急事態宣言全面解除
- 3月21日 東京五輪・パラリンピック、海外客の受け入れ断念
- 3月25日 4都県で飲食店の時短4/21まで延長決定
- 3月29日 コロナウイルス再拡大鮮明、34都府県で増加
- 4月3日 大阪府、新規感染者数666人で過去最多
- 4月5日 「まん延防止等重点措置」大阪・神戸・宮城など6都市に適用

補足資料③

特に買いたいモノ・サービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q.あなたが来月(5月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2021年5月(%)	前月比(pt)	前年比(pt)
全体	27.1	-2.3	4.6
男性	25.5	-4.0	1.8
女性	28.7	-0.6	7.5

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q.特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(406人)

参考:男性(193人)

参考:女性(213人)

順位	カテゴリー	5月 (人数)	前月比	前年比
1	ファッション	210	-36	+54
2	食品	191	+15	+38
3	外食	170	-28	+39
4	旅行	145	-12	+45
5	飲料	132	+9	+9
6	書籍・エンタメ	111	-23	±0
7	レジャー	109	-19	+42
8	化粧品	105	-1	+27
9	家電・AV	100	-16	+20
10	理美容	97	-19	+27
11	日用品	96	-10	+10
12	パソコン・タブレット・周辺機器	71	+5	+15
13	インテリア用品	66	-27	+21
14	スマートフォン・携帯電話	63	-17	+20
15	装飾品	60	-12	+10
16	車・バイク	41	-13	+5

順位	カテゴリー	5月 (人数)	前月比	前年比
1	ファッション	82	-15	+24
2	食品	76	-1	+5
2	旅行	76	-7	+22
4	外食	70	-25	+6
5	飲料	61	-5	-2
6	レジャー	58	-6	+24
7	書籍・エンタメ	55	-17	-8
8	家電・AV	50	-22	-1
9	パソコン・タブレット・周辺機器	47	+1	+4
10	スマートフォン・携帯電話	36	-13	+15
11	車・バイク	33	-9	+5
12	日用品	29	-16	-9
13	装飾品	27	-6	+2
14	インテリア用品	23	-17	+6
15	理美容	22	-18	+3
16	化粧品	12	-7	+3

順位	カテゴリー	5月 (人数)	前月比	前年比
1	ファッション	128	-21	+30
2	食品	115	+16	+33
3	外食	100	-3	+33
4	化粧品	93	+6	+24
5	理美容	75	-1	+24
6	飲料	71	+14	+11
7	旅行	69	-5	+23
8	日用品	67	+6	+19
9	書籍・エンタメ	56	-6	+8
10	レジャー	51	-13	+18
11	家電・AV	50	+6	+21
12	インテリア用品	43	-10	+15
13	装飾品	33	-6	+8
14	スマートフォン・携帯電話	27	-4	+5
15	パソコン・タブレット・周辺機器	24	+4	+11
16	車・バイク	8	-4	±0

<全体にのみ下記基準で色付け>

:前月比/前年比で20人以上増加

:前月比/前年比で20人以上減少

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(5月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(5月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要	生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。					
調査地域	①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏					
調査対象者	20～69歳の男女					
対象者割付	調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付					
サンプル数	合計1,500人					
	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	122	143	187	169	136	757
女性	118	139	183	164	139	743
合計	240	282	370	333	275	1,500
調査方法	インターネット調査					
調査時期	2021年4月1日(木)～5日(月)(2012年5月から調査開始/毎月月上旬に実査)					
調査機関	株式会社 H.M.マーケティングリサーチ					

<備考>

「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

・博報堂生活総合研究所は、4/16付で「2021年4月 新型コロナウイルスに関する生活者調査」を発表いたしました。

<https://www.hakuhodo.co.jp/uploads/2021/04/20210416.pdf>

こちらは、毎月第3～4週頃に発表する予定です。併せてご利用下さい。

問い合わせ先 株式会社博報堂 広報室(寺村) 03-6441-6161 koho.mail@hakuhodo.co.jp

データ公開 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<https://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2021-05/>)からダウンロードしていただけます。